














操作パネルの輝度とコントラストを調整する

液晶操作パネルのコントラストと輝度は、[ユーティリティ項目] で調整します (⇒『メニューとメッセージガイド』)。

液晶表示明度と液晶コントラストの設定は個別に行います。液晶表示明度または液晶コントラストの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。
- 2 操作パネルの  を押します。
- 3 [設定] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 4 [ユーティリティ項目] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 変更する LCD 設定の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 6  を押して輝度またはコントラストを増やすか、 を押して輝度またはコントラストを減らします。
- 7 調整が完了したら、 を押します。

これで、この設定が新しいユーザー標準設定になり、プリンタは [準備完了] に戻ります。



操作パネルのメニューを無効にする

不特定多数の人がプリンタを使用する可能性があるため、管理者は操作パネルのメニューをロックして、メニュー設定が変更されないようにすることができます。

操作パネルのメニューを無効にして、プリンタの標準設定を変更できないようにするには




- 1 プリンタの電源を切ります。




メモ：操作パネルのメニューを無効にしても、[印刷して保持] 機能は使用できます。

- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。




- 3 画面に [自己診断を実行中] と表示されたら両方のボタンを離します。

プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に [構成設定メニュー] と表示されます。

- 4 [パネルメニュー] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。

- 5 [無効化] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。












[選択を送信中] メッセージおよび [メニューを無効化中] メッセージが短時間続いて表示されます。操作パネルが [パネルメニュー] に戻ります。

- 6 [設定メニュー終了] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。

[メニューの変更を有効化中] と表示されます。メニューが無効になります。

[プリンタのリセット中] が短時間表示された後で時計が表示されます。次に、操作パネルが [準備完了] に戻ります。

操作パネルのメニューを有効にする

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 画面に **【自己診断を実行中】** と表示されたら両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に **【構成設定メニュー】** と表示されます。
- 4 **【パネルメニュー】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 **【有効化】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
【選択を送信中】 メッセージおよび **【メニューを有効化中】** メッセージが短時間続いて表示されます。
操作パネルが **【パネルメニュー】** に戻ります。
- 6 **【設定メニュー終了】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
【メニューの変更を有効化中】 と表示されます。メニューが有効になります。
【プリンタのリセット中】 が短時間表示された後で時計が表示されます。次に、操作パネルが **【準備完了】** に戻ります。














出荷時標準設定を復元する

初めて操作パネルからプリンタメニューを表示すると、メニューの値の左横にアスタリスク (*) が表示されています。このアスタリスクは、その値が出荷時の標準設定であることを示します。これらの設定が、元のプリンタ設定です（出荷時標準設定は地域によって異なることがあります）。

操作パネルから新しい設定を選択すると、**【選択を送信中】** と表示されます。**【選択を送信中】** メッセージが消えると、設定の横にアスタリスクが表示され、その設定が現在のユーザー標準設定であることを示します。これらの設定は、新しい設定を保存するか、出荷時標準設定を復元するまで有効です。

プリンタの元の出荷時標準設定を復元するには

警告： プリンタメモリ (RAM) にあるダウンロードされたすべてのリソース (フォント、マクロ、シンボルセット) は削除されます (フラッシュメモリまたはオプションのハードディスクに格納されているリソースは影響を受けません)。












- 1 プリンタの電源が入った状態で、画面に **【準備完了】** と表示されていることを確認します。
- 2 操作パネルの  を押します。
- 3 **【設定】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 4 **【セットアップ項目】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 **【出荷時標準設定】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 6 **【今復元】** の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 7 **【出荷時標準設定を復元中】** メッセージが表示された後、**【準備完了】** メッセージが表示されます。

【復元】 を選択した場合

- **【出荷時標準設定を復元中】** が表示されている間は、操作パネルの他のボタンは使用できません。
- 以下の設定を除くすべてのメニュー設定が出荷時の標準設定値に戻ります。
 - 操作パネルの **【セットアップ項目】** の **【表示言語】**
 - **【ネットワーク/ポート】** メニューのすべての設定

電力節約を調整する

【電力節約】の設定を調整するには
















- 1 プリンタの電源が入った状態で、画面に【準備完了】と表示されていることを確認します。
- 2 操作パネルの  を押します。
- 3 【設定】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 4 【セットアップ項目】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 【電力節約】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 6 操作パネルの右矢印と左矢印を使用して、プリンタが電力節約モードになるまでの待機時間（分）を入力します。
設定可能な範囲は 1 ~ 240 分です。
- 7  を押します。
【選択を送信中】と表示されます。

メモ：【電力節約】設定は、Printer Job Language (PJM) コマンドを発行することでも調整できます。









ディスクを暗号化する

警告： ハードディスクおよび RAM 上のリソースはすべて削除されます。

メモ：この設定は、ハードディスクが取り付けられている場合のみ使用可能です。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 画面に【自己診断を実行中】と表示されたら両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に【構成設定メニュー】と表示されます。
- 4 【ディスク暗号化】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 【有効化】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
【内容が消失します。継続?】と表示されます。
- 6 【はい】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
【ディスクを暗号化中】 処理状況バーが表示されます。
- 7 ディスクの暗号化が終了したら、 を押します。
- 8 【設定メニュー終了】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。

ディスクの暗号化を無効にするには

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 画面に【自己診断を実行中】と表示されたら両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に【構成設定メニュー】と表示されます。
- 4 【ディスク暗号化】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 【無効化】の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
【内容が消失します。継続?】と表示されます。

- 6 [はい] の横に ✓ が表示されるまで ▼ を押してから、✔ を押します。
[ディスクを暗号化中] 処理状況バーが表示されます。
- 7 ディスクの暗号化が終了したら、🔄 を押します。
- 8 [設定メニュー終了] の横に ✓ が表示されるまで ▼ を押してから、✔ を押します。

内蔵 Web サーバー（EWS）を使用してセキュリティを設定する

高度なセキュリティオプションを使用して、ネットワーク通信とデバイス構成のセキュリティを強化できます。これらの機能は、デバイスの Web ページから使用できます。

システムパスワードを設定する

システムパスワードを設定して、内蔵 Web サーバーの構成を保護します。システムパスワードは、セキュアモードおよび MVP による秘密通信にも必要です。

システムパスワードを設定するには

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 [構成設定] をクリックします。
- 3 [その他の設定] で、[セキュリティ] をクリックします。
- 4 初めてパスワードを設定する場合は、[パスワードを作成] をクリックします。すでにパスワードが設定されている場合は、[パスワードを変更または削除] をクリックします。

内蔵 Web サーバーのセキュリティを確保する

SSL (Secure Sockets Layer) を使用すると、印刷デバイス内の Web サーバーへの接続のセキュリティを確保することができます。HTTP 標準ポートの代わりに SSL ポートを使用すると、より安全に内蔵 Web サーバーに接続できます。SSL ポート接続では、PC とプリンタ間のすべての Web サーバーネットワーク通信が暗号化されます。SSL ポートに接続するには、以下の手順に従います。

Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **https://ip_address/** という形式で入力します。

SNMPv3 (Simple Network Management Protocol version 3) をサポートする

SNMPv3 プロトコルを使用すると、暗号化および認証されたネットワーク通信が可能になります。また、管理者が目的のセキュリティレベルを選択することもできます。使用する前に、少なくとも 1 つのユーザー名とパスワードを設定ページから設定する必要があります。プリンタの内蔵 Web サーバーから SNMPv3 を設定するには以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 [構成設定] をクリックします。
- 3 [その他の設定] で、[ネットワーク/ポート] をクリックします。
- 4 [SNMP] をクリックします。

SNMPv3 認証および暗号化には、以下の 3 つのサポートレベルがあります。

- 認証なし、暗号化なし
- 認証あり、暗号化なし
- 認証あり、暗号化あり

メモ：通信には、選択したレベル以降のサポートレベルが使用されます。

IPSec (Internet Protocol Security) をサポートする

IP Security プロトコルではネットワーク層での通信の認証と暗号化が提供され、IP プロトコルを使用するすべてのアプリケーションとネットワーク通信のセキュリティを確保できます。IPv4 と IPv6 の両方を使用して、プリンタと最大 5 つのホスト間に IPSec を設定できます。内蔵 Web サーバーを使用して IPSec を設定するには以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 **【構成設定】** をクリックします。
- 3 **【その他の設定】** で、**【ネットワーク/ポート】** をクリックします。
- 4 **【IPSec】** をクリックします。

IPSec では、以下の 2 種類の認証がサポートされます。

- **共有鍵認証**—関係するすべてのホスト間で共有されている任意の ASCII フレーズを認証します。この認証方式は、ネットワーク上の数台のホストのみが IPSec を使用する場合に最も簡単に設定できる方法です。
- **証明書認証**—IPSec を使用する任意のホストまたはホストのサブネットを認証します。各ホストには公開鍵/秘密鍵のペアが必要です。**ピア証明書の確認**が標準で有効になり、各ホストには署名済み証明書と認証局証明書がインストールされている必要があります。署名済み証明書の **Subject Alternate Name** には、各ホストの識別子が記載されている必要があります。

メモ：あるホストとの通信に IPSec を使用するようデバイスを設定した後は、そのホストとのすべての IP 通信で IPSec を使用する必要があります。

セキュアモードを使用する

TCP および UDP ポートは、以下の 3 つのモードのいずれかに設定できます。

- **無効**—このポートへのネットワーク接続を許可しない
- **セキュアおよび非セキュア**—セキュアモードの場合でもポートを開いたままにできる
- **非セキュアのみ**—プリンタがセキュアモードでない場合にのみポートを開ける

メモ：セキュアモードを有効にするには、パスワードを設定する必要があります。有効にした後は、セキュアおよび非セキュアに設定されているポートのみ開かれます。

内蔵 Web サーバーを使用して TCP および UDP ポートのセキュアモードを設定するには

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 **【構成設定】** をクリックします。
- 3 **【その他の設定】** で、**【ネットワーク/ポート】** をクリックします。
- 4 **【TCP/IP ポートアクセス】** をクリックします。

メモ：ポートを無効にすると、プリンタの機能も無効になります。

802.1x 認証を使用する

802.1x ポート認証を使用すると、プリンタは、アクセスする前に認証が必要なネットワークに参加できます。802.1x ポート認証をオプションのワイヤレス内蔵プリントサーバーの WPA (Wi-Fi Protected Access) 機能と共に使用して、WPA-Enterprise セキュリティサポートを提供できます。

802.1x のサポートには、プリンタの資格証明書が必要です。認証サーバー (AS) にプリンタを認識させる必要があります。AS を使用すると、有効な資格証明書のセット (通常、名前とパスワードの組み合わせに加え、場合によっては証明書) を提示するデバイスにネットワークアクセスできるようになります。また、有効な資格証明書のセットを提示するプリンタにもネットワークアクセスできます。プリンタの内蔵 Web サーバーを使用して、資格証明書を管理できます。資格証明書の一部として証明書を使用するには、以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 **【構成設定】** をクリックします。
- 3 **【その他の設定】** で、**【ネットワーク/ポート】** をクリックします。
- 4 **【証明書管理】** をクリックします。

必要な証明書のインストール後に内蔵 Web サーバーで 802.1x を有効にし、設定するには

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 **【構成設定】** をクリックします。
- 3 **【その他の設定】** で、**【ネットワーク/ポート】** をクリックします。
- 4 **【802.1x 認証】** をクリックします。

メモ：オプションのワイヤレス内蔵プリントサーバーが取り付けられている場合は、**【802.1x 認証】** の代わりに **【ワイヤレス】** をクリックします。

操作パネルのメニューをロックする

操作パネルのメニューをロックする機能を使用すると、暗証番号を作成して特定のメニューをロックできます。ユーザーがロックされたメニューを選択すると、操作パネルで正しい暗証番号の入力を求められます。暗証番号は、内蔵 Web サーバー経由のアクセスには影響しません。操作パネルのメニューをロックするには、以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 **【構成設定】** をクリックします。
- 3 **【その他の設定】** で、**【セキュリティ】** をクリックします。
- 4 **【メニュー保護設定】** をクリックします。

印刷ロック

[印刷ロック] を使用して、割り当て済みの暗証番号で、プリンタをロックまたはロック解除できます。プリンタをロックすると、プリンタが受信するすべてのジョブはハードディスクにバッファリングされます。ジョブを印刷するには、操作パネルで正しい暗証番号を入力する必要があります。暗証番号は、デバイスの Web ページで割り当てます。

メモ：この設定は、ハードディスクが取り付けられている場合のみ使用可能です。

メモ：バックチャネルデータは、プリンタのロック中に処理されます。ユーザーログやイベントログなどのレポートは、ロックされたプリンタからも取得できます。

印刷ロックを設定するには

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 [構成設定] をクリックします。
- 3 [その他の設定] で、[セキュリティ] をクリックします。
- 4 [プリンタロック暗証] をクリックします。

秘密印刷設定

[秘密印刷設定] では、暗証番号を入力する際の最大試行回数を指定し、印刷ジョブの有効期限を設定します。ユーザーが指定回数を超えて暗証番号の入力を試行した場合は、そのユーザーのすべての印刷ジョブが削除されます。ユーザーが指定期間内にジョブを印刷しなかった場合は、印刷ジョブが削除されます。秘密印刷設定を有効にするには、以下の手順に従います。









メモ：この機能は、ネットワーク機種でのみ使用できます。

- 1 Web ブラウザを開きます。アドレス入力欄に、設定するプリンタの IP アドレスを **http://ip_address/** という形式で入力します。
- 2 [構成設定] をクリックします。
- 3 [その他の設定] で、[セキュリティ] をクリックします。
- 4 [秘密印刷設定] をクリックします。

白黒のみモード

白黒のみモードでは、すべてのカラーがグレースケールで印刷されます。白黒のみモードでは、プリンタの印刷速度が最も速くなります。白黒のみモードは、標準設定でオフになっています。白黒のみモードは、必ずドライバとプリンタの操作パネルの両方で設定してください。











プリンタの操作パネルから白黒のみモードをオンにするには

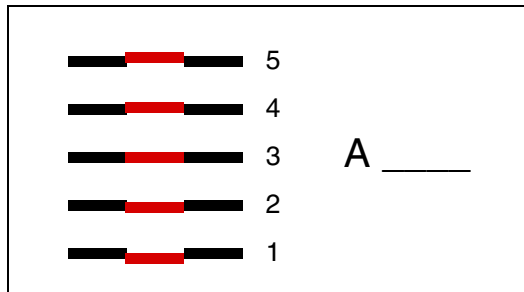
- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 画面に [自己診断を実行中] と表示されたら両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に [構成設定メニュー] と表示されます。
- 4 [白黒のみモード] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 [オン] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。

イメージ転写ユニットを整列する





最高の印刷品質を得るには、イメージ転写ユニットの交換後、またはカラー印刷が明る過ぎるよう場合に、イメージ転写ユニットを整列してください。

イメージ転写ユニットを整列するには

- 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。
- 2 操作パネルの  を押します。
- 3 [設定] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 4 [ユーティリティ項目] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 [カラー整列] が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 6  を押して、印刷品質テストページを印刷します。
テストページが数ページ印刷されます。
- 7 テストページの各調整グループについて、完全な直線に近い調整パターンの隣にある数字を見つけます。
たとえば、以下の図のサンプルグループの場合は、パターン 3 が最も直線に近くなっています。












手順 8 に進む前に、テストページに印刷されている各線の 12 個の調整値をすべてメモしておくといでしょう。12 個の設定すべてについて値を選択する必要があります。

- 8 **A=10**（または他の数値）の場合には、使用する数値が表示されるまで  を押してから、 を押します。[保存] メッセージが短時間表示され、次のテスト調整が表示されます。
変更する必要がない場合は、 を押して、[ユーティリティ項目] に戻ります。
- 9 12 個の設定すべてについて値を設定すると、[ユーティリティ項目] が表示されます。 を押します。
プリンタが [準備完了] 状態に戻ります。

着色面率の推定を行う

着色面率の推定を行うと、1 ページのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの着色面率の推定値を知ることができます。これらの推定値は、該当ページに印刷されます。

着色面率の推定ユーティリティをオンにするには

- 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。
- 2 操作パネルの  を押します。
- 3 [設定] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 4 [ユーティリティ項目] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
- 5 [オン] が表示されるまで  を押してから、 を押します。

着色面率の推定ユーティリティは、操作パネルから、またはプリンタの電源を切って、オフにできます。

着色面率の推定は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの各トナー色のピクセルをカウントするアルゴリズムを使用します。ユーティリティがオンになると、プリンタは、ジョブの各ページの各色について着色面率を印刷します。






着色面率の推定は、ページの着色面率を推定することのみを目的としています。使用されているすべてのトナー色について、印刷される最小着色面率は 2% です。報告値はプリンタによって異なります。推定値の正確さは、印刷カートリッジの残量、周囲の環境、用紙の種類、ソフトウェアアプリケーション、ソフトウェア設定、ドライバ、ドライバ設定、ページの内容による影響を受けます。

大きさ検知











[大きさ検知] メニュー項目で、カセットの自動大きさ検知機能を無効または有効にできます。また、大きさ検知機能を使用すると、他の方法では検知できない似通った用紙サイズの差を検知できます。

大きさ検知機能は、すべてのカセットについて標準設定でオンになっています。ただしカセットは、OHP フィルムを自動的に検知できません。

大きさ検知機能を無効にする場合

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と  を押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 画面に [自己診断を実行中] と表示されたら両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、画面の最初の行に [構成設定メニュー] と表示されます。
[大きさ検知] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。

メモ：自動大きさ検知機能をサポートする用紙カセットのみが操作パネルに表示されます。

- 4 [カセット <x> 検知] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。<x> は大きさ検知機能を無効にするカセットの番号です。
必要に応じて、他のカセットについてもこの操作を繰り返します。
- 5 [オフ] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
[保存] と短時間表示されます。2 行目に [大きさ検知] と表示された状態で [構成設定メニュー] がもう一度表示されます。
- 6  を押します。
- 7 [設定メニュー終了] の横に  が表示されるまで  を押してから、 を押します。
[メニューの変更を有効化中] が短時間表示され、[自己診断を実行中] と表示されます。プリンタが [準備完了] 状態に戻ります。

警報を設定する

操作が必要であることをユーザーに知らせるようにプリンタを設定するには、いくつかの方法があります。

[セットアップ項目] を使用する

メニュー項目	機能	値	結果
警告音設定	プリンタがユーザーの操作を要求する場合に警告音を鳴らすかどうかを設定する。	オフ	警告音は鳴らさないが、メッセージが消去されるまで印刷を停止する。*
		1回	印刷を停止し、メッセージを表示してから、選択された種類の警告音を鳴らす。
		連続	
トナー警告	トナー残量が少なくなったときのプリンタの動作を選択する。	オフ	メッセージを表示してから、印刷を続行する。
		1回	印刷を停止し、メッセージを表示してから、選択された種類の警告音を鳴らす。
		連続	

* 操作が必要な状態が複数連続している場合は、最初のメッセージを表示するときのみ警告音を鳴らします。その後の操作要求については警告音を鳴らしません。

[自動継続] を選択すると、警告音を鳴らす方法に影響を与えることがあります。この設定は、メッセージを表示してから印刷を再開するまでのプリンタの待ち時間を定義します。

MarkVision Professional を使用する

ネットワークプリンタ管理ユーティリティの MarkVision™ Professional は、消耗品の交換時期を知らせたり、発生している問題または発生する可能性のある問題について通知します。プリンタがユーザー操作を必要とする場合、このユーティリティは、警報の原因を示す詳細なプリンタのグラフィック画像により、ネットワーク管理者に警報を發します(用紙カセットが空になった場合など)。MarkVision Professional の詳細については、プリンタに付属のソフトウェアおよび説明書類 CD を参照してください。

MarkVision Messenger を使用する

MarkVision Messenger では、操作パネルに【カセット <x> 不明】または【88 トナー残少】などのメッセージが表示された場合に特定のコマンドを実行するアクションを作成できます。たとえば、プリンタの用紙がなくなった場合に管理者に電子メールを送信するアクションを作成できます。

アクションは、自動で実行することも、条件付きで、または繰り返し実行されるようにも設定できます。MarkVision Messenger の詳細については、プリンタに付属のソフトウェアおよび説明書類 CD を参照してください。